

令和5年度 財務管理部長「政策宣言」達成状況

財務管理部長 北 辰巳

○ 令和5年度重要事業

事業名	税財源の確保及び健全で持続可能な財政運営
目標	<p>昨今の社会情勢が及ぼす市税への影響の把握に努めるとともに、引き続き、公平・公正な課税の実施に努め、税負担の公平性の確保と納税秩序の維持のため、多様な納付環境の整備と滞納整理の強化を推進し、市税等の収納率向上を図ります。</p> <p>また、第3次射水市総合計画及び前期実施計画を踏まえ、中期の財政見通しを策定し、健全で持続可能な財政運営に努めます。</p>
年度末達成状況	<p>各公的機関が公表している景気動向調査の情報収集及び市内法人へのアンケート調査の実施により市税への影響の把握に努めるとともに、地方税法等の規定に基づき、課税資料の調査及び現地調査の実施、能登半島地震に伴う税の免除措置など、公平・公正な賦課徴収に努めました。</p> <p>収納管理では、固定資産税、軽自動車税のQRコード決済に加え、新たに市県民税（普通徴収）及び国民健康保険税を追加するためのシステム整備を完了しました。</p> <p>また、将来を見据えた財政運営のため、令和5年度中の予算では、令和4年度決算上剰余金を活用して繰上償還を行うとともに、令和6年度予算では、限られた財源の中、真に必要な施策に重点的に予算配分されるよう、事業の厳格な優先順位付けなどに取り組み、財政調整基金を活用しない予算編成としました。</p>
自己評価	<p>QRコード決済機能の拡大など、納付環境の拡充に努めました。引き続き、公正かつ適切な賦課徴収に努めていきます。</p> <p>また、健全で持続可能な財政運営のため、第5次行財政改革大綱及び第5次集中改革プランに基づき、社会変化に柔軟に対応する行財政運営を着実に進めます。</p>

事業名	防災・減災対策の推進
目標	地域振興会などの地区の住民等により、地区の特性や想定される災害を踏まえ、平常時から防災活動体制を構築するなど、地域が主体で行う防災活動について定める「地区防災計画」の策定を推進するとともに、防災士の育成・養成に取り組むなど、地域の共助による地域防災力の向上及び災害時における迅速な対応の確保に努めます。
年度末達成状況	地区防災計画については、地域に出向いて講演を行ったり、県地区防災計画策定モデル事業事例発表会のサテライト会場を開設したりするなど、地域の計画策定への意欲の向上に取り組みました。 また、新規防災士の資格取得に向け、地域振興会と連携し支援に取り組み、新規防災士6名（うち女性3名）を養成しました。
自己評価	地区防災計画策定に着手した地域に加え、複数の地域で計画策定を前向きに検討されています。引き続き、地区防災計画の策定促進や防災士の育成・養成に取り組めます。さらに、市外でも多くの被害が発生した能登半島地震を踏まえ、災害に強いまちづくりに向け、防災・減災対策のより一層の推進に努めます。

事業名	公共施設等マネジメントの推進
目標	公共施設包括管理業務による施設の安全性向上や業務の効率化を図り、市民サービスの向上に努めます。 また、広く民間事業者との連携を深め、公民連携による公共施設等のマネジメントを推進します。
年度末達成状況	包括管理業務によって、施設の安全性・快適性の向上や、業務の効率化を図りました。 また、民間提案事業においては、照明LED化や節水器具設置による脱炭素化やコスト削減、学校体育館のスマートロックや市営駐車場のシェアカー導入による利便性向上などに結びました。
自己評価	包括管理業務委託や民間提案事業などにより、民間事業者が持つノウハウやアイデアを公共施設マネジメントに活用する仕組みが機能してきており、今後ともさらなる取組の推進に努めます。